

## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 電子証明書の取得 处理フロー【管理者】

#### 電子証明書の取得

##### 1. 電子証明書の取得（初回のみ行う）

契約法人口ログオン画面の「[電子証明書取得はこちら](#)」をクリックして、電子証明書を取得（パソコンへのインストール）します。

#### 電子証明書とは？

「電子証明書」を取得すると、本サービスへのログオンを「電子証明書」が取得されているパソコンからだけに限定します。万一お客様のID、暗証番号等の情報が盗まれた場合でも、「電子証明書」が取得されているパソコン以外からのログオンが拒否されますので、第三者による不正利用を防ぐことが可能となり、Biznetをより安全にご利用いただけます。

#### ご確認ください

- 電子証明書をインストールするために電子証明書取得 URL を信頼済みサイトとして登録してください。  
<https://www3.suitebank3.finemax.net>

詳細は「信頼済みサイトへの登録」マニュアルをご参照ください。

#### ご注意ください

- 「電子証明書」は当行が推奨するご利用環境（OS、ブラウザ）でご使用ください。
- 「電子証明書」の有効期間は取得日から1年間です。有効期限が切れる30日前と10日前に管理者のEメールアドレスあてに有効期限の更新のお知らせを送信いたしますので、Eメールアドレスにお間違いがないかご確認ください。
- 管理者用の電子証明書の有効期限が過ぎてしまった場合やパソコンを新しくした場合は、管理者ログオンができなくなります。この場合、管理者用の「電子証明書」を再度取得できるようにするため、ご来店による電子証明書再発行手続きが（※）必要になります。  
(※) 法人インターネットバンキング代表口座のお届出印が必要です。
- 管理者用の「電子証明書」の再発行の手続き完了後は、管理者用の「電子証明書」を再度取得してください。

## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 1. 電子証明書の取得（初回のみ行う）

#### 手順1 管理者のログオン開始



① 北日本銀行ホームページの  
Biznetをクリックしてください。

② 管理者ログオンをクリックしてください。



## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 手順2 契約法人口ログオン（電子証明書方式選択）

北日本銀行 法人インターネットバンキング Biznet

契約法人口ログオン(電子証明書方式)

電子証明書を取得済みの場合は、「電子証明書を使用したログオンはこちら」をクリックしてください。

電子証明書を使用したログオンはこちら

① 電子証明書取得はこちら

契約法人口ログオン(I D・暗証番号方式)

I D・暗証番号方式の場合は、契約法人IDと契約法人暗証番号を入力し、「ログオン」ボタンを押してください。

契約法人ID  必須 半角英数字30桁以内

契約法人暗証番号  必須 半角英数字4~12桁

ソフトウェアキーボード  閉く

ご注意事項

電子証明書方式の場合は、契約法人ID、契約法人暗証番号の入力は不要です。  
暗証番号を規定の回数以上間違えた場合、サービスを停止させていただきます。お間違えのないように入力してください。

クリア 閉じる ログオン >

① [電子証明書取得はこちら](#) をクリックしてください。

※ログオンを中断する場合は、[閉じる](#)をクリックしてください。

※電子証明書を利用できない場合は、  
ID・暗証番号方式でログオンしてください。

#### ご注意ください

・「電子証明書」の取得・インストール操作を途中でやめたり、手順を間違えると、取得・インストールが正常に行われない場合があります。

・「電子証明書」が使えなくなり管理者ログオンができなくなった場合は、[管理者用の「電子証明書」を取得できるようにするため、ご来店による再発行（初期化）手続き](#)（※）が必要になります。

（※）法人インターネットバンキング代表口座のお届出印が必要です。

#### ご確認ください

管理者ログオンを行うユーザー名で  
パソコンを起動していることをご確認ください。

## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 手順3 専用アプリケーションのダウンロードと起動

契約法人電子証明書取得

契約法人の電子証明書を取得します。  
契約法人IDと契約法人暗証番号を入力し、「取得」ボタンを押してください。

契約法人ID  
必須 00000012345678 半角英数字30桁以内 ①

契約法人暗証番号  
必須 \*\*\*\*\* 半角英数字4~12桁 ②

SoftKeyboard

ご注意事項

電子証明書の取得実行時に、「Webアクセスの確認」のポップアップが数回表示されますので、全て「はい」を応答してください。  
電子証明書の取得完了後は、ログオン画面の「電子証明書を使用したログオンはこちら」からログオンしてください。  
暗証番号を規定の回数以上間違えた場合、サービスを停止させていただきます。お間違えのないように入力してください。

クリア 閉じる ③→ 取得 >

① 初めてのログオンの場合は、登録完了のお知らせの「契約法人ID」をご入力ください。

② 初めてのログオンの場合は、登録完了のお知らせの「(仮)契約法人暗証番号」をご入力ください。  
※ご入力情報をクリアする場合は、**クリア**をクリックしてください。

※ご入力には、セキュリティ対策としてソフトウェアキーボードをご利用ください。  
ソフトウェアキーボードをクリックいただくと、画面上にキーボードが表示されます。  
※取得を中断する場合は、**閉じる**をクリックしてください。

③ **取得**をクリックしてください。

#### ご注意ください

以下の操作は行わないでください。

- ・ブラウザの戻るボタンや更新ボタンをクリックする。
- ・ブラウザを閉じる（電源を切る）
- ・他のユーザーでログオンするなど

④ 初めてのログオンの場合は**ダウンロード**から専用アプリケーション（RaCpiClientTool.exe）をダウンロードしてください。

※通常、ダウンロードフォルダ（C:\Users\ログインユーザ\download）に格納されます。

※同画面（電子証明書取得実行画面）は  
⑤～⑦を実行後、⑧で再度操作するため  
閉じずにそのままとしてください。

電子証明書取得実行

CIBRA001

電子証明書の取得を開始します。

【Step 1】専用アプリケーションのダウンロード

証明書の取得には専用アプリケーションのダウンロードが必要となります。  
「ダウンロード」ボタンを押して専用アプリケーションをダウンロードしてください。 ④→ ダウンロード

【Step 2】専用アプリケーションの起動

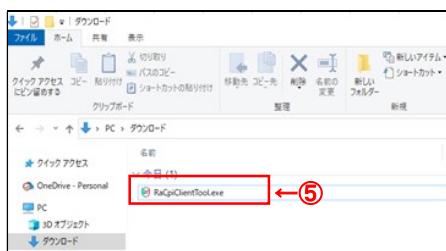
ダウンロードした専用アプリケーション（RaCpiClientTool.exe）を起動してください。  
(補足1)専用アプリケーションは、ブラウザの設定を変更されなければ、「ダウンロード」フォルダに保存されています。  
(補足2)Windows 8.1をご利用の場合、専用アプリケーションを右クリックして「管理者として実行」を選択して起動してください。

【Step 3】証明書の取得開始

専用アプリケーション（RaCpiClientTool.exe）が起動されていることを確認して、「実行」ボタンを押してください。

キャンセル 実行 >

## 1. 電子証明書の取得【管理者】



- ⑤ 専用アプリケーションをダブルクリックまたは [右クリック]-[開く]をクリックして起動してください。

※Windows 8.1/Google Chrome の場合は、RaCpiClientTool.exe を右クリックし、「管理者として実行」をクリックする必要があります。

- ⑥ 左記画面が表示された場合、[インストールする]をクリックしてください。

- ⑦ 専用アプリケーションが起動されたことを確認してください。

- ⑧ [実行]をクリックしてください。

※④で開いたままとした電子証明書取得実行画面より操作を行ってください。

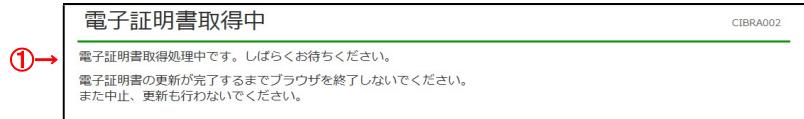
※電子証明書の取得を中止する場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

※専用アプリケーションを起動せずに「実行」をクリックした場合、以下のダイアログが表示されます。



## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 手順4 電子証明書取得実行



① 「電子証明書」の取得とインストールが開始されます。

#### ご注意ください

以下の操作は行わないでください。

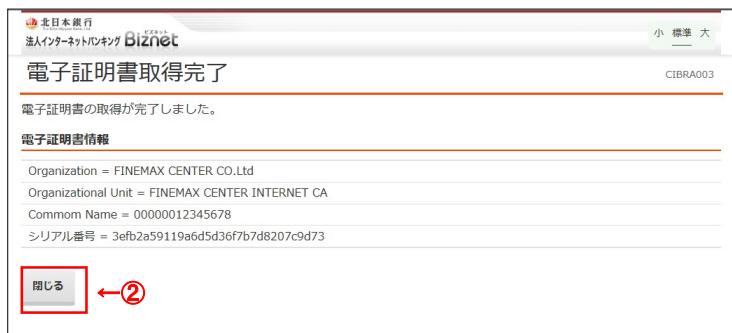
- ・ブラウザの戻るボタンや更新ボタンをクリックする。
- ・ブラウザを閉じる（電源を切る）
- ・他のユーザーでログオンするなど

### 手順5 電子証明書取得完了



「電子証明書」の取得が正常に完了すると、左の画面が表示されます。

① 専用アプリケーションを確認し、電子証明書のインストールが完了しているか確認します。



#### ご確認ください

電子証明書情報をご確認ください。

Organization =

The Kita-Nippon Bank,Ltd.

Organizational Unit =

The Kita-Nippon Bank Internet Banking

CA-G2

Common Name =

14桁の契約法人ID



② 「閉じる」をクリックしてください。

Biznet の画面は閉じます。

パソコンを再起動するか、一旦全てのブラウザを閉じてから、北日本銀行ホームページの「管理者ログオン」をクリックしてください。

③ 「X」をクリックしてください。専用アプリケーションが終了します。

## 1. 電子証明書の取得【管理者】

### 備考「手順3 専用アプリケーションのダウンロードと起動」に失敗する場合

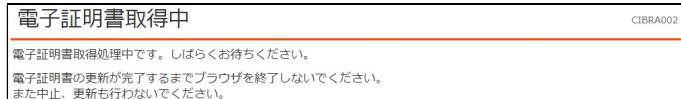
「手順3 専用アプリケーションのダウンロードと起動」を実行した際に何らかの理由で専用アプリケーション(RaCpiClientTool.exe)をダウンロードできない、または起動できない場合は本手順を実行してください。



① こちらをクリックします。



② 実行をクリックします。



#### ご注意ください

以下の操作は行わないでください。

- ・ブラウザの戻るボタンや更新ボタンをクリックする。
- ・ブラウザを閉じる（電源を切る）
- ・他のユーザーでログオンするなど



③ ダウンロードをクリックします。

※通常、ダウンロードフォルダ (C:\Users\ロガイ\ユーザー\download) に格納されます。

#### ご確認ください

電子証明書情報をご確認ください。

Organization =

The Kita-Nippon Bank,Ltd.

Organizational Unit =

The Kita-Nippon Bank Internet Banking

CA-G2

Common Name =

14 行の契約法人 ID



④ 証明書ファイルをダブルクリックして証明書のインポートウィザードを起動してください。

## 1. 電子証明書の取得【管理者】

⑤～⑦初期表示のまま次へをクリックします。



証明書のインポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザーIDを確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

保存場所

① 現在のユーザー(C)  
② ローカルコンピューター(L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

⑤→ 次へ(N) キャンセル



インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(E): C:\Users\...\Downloads\certificate.p12 参照(B)...

注意: 次の形式を使うと 1つのファイルに複数の証明書を保管できます:

Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)  
Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)  
Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

⑥→ 次へ(N) キャンセル



秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):  □ パスワードの表示(D)

インポートオプション(I):

秘密キーの保護を強力にする(L)  
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

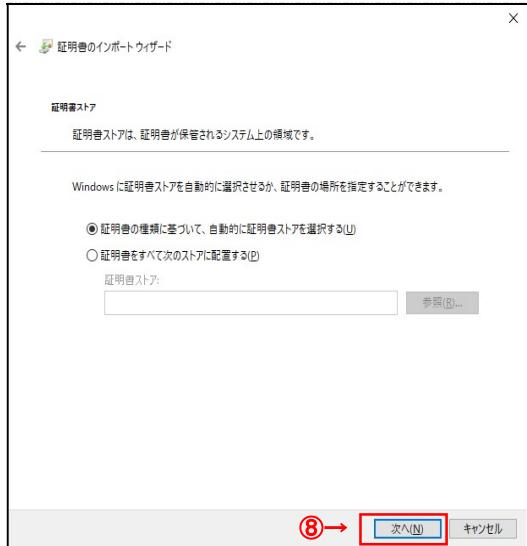
このキーをエクスポート可能にする(M)  
キーのバックアップやトランスポーテートを可能にします。

仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(D)

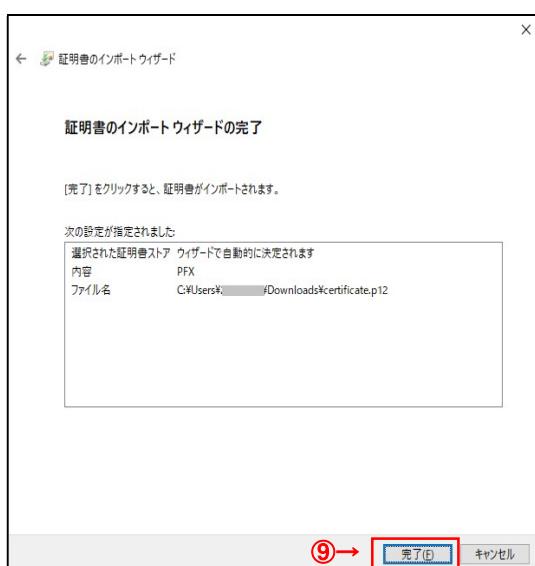
すべての証明プロバティを含める(A)

⑦→ 次へ(N) キャンセル

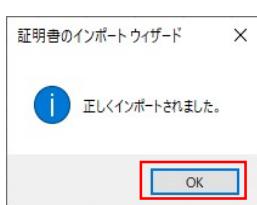
## 1. 電子証明書の取得【管理者】



⑧ 初期表示のまま次へをクリックします。



⑨ 完了をクリックします。



⑩ OK をクリックし、取得を完了します。パソコンを再起動するか、一旦全てのブラウザを閉じてから、北日本銀行ホームページの管理者ログオンをクリックしてください。